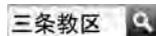


三条教区通信

第 73 号

発行日 2013年7月1日
 発行者 三条教務所長 鷲尾 幸雄
 発行所 真宗大谷派三条教務所
 〒955-0071 三条市本町2丁目1-57
 E-mail: sanjo@higashihonganji.or.jp
 ホームページ: www.gobosama.net



今月の法語

〔真宗教団連合『法語カレンダー』より〕

「まかせよ まかせよ」

如来の声

「おまかせします」

私の声

鈴木章子 1941年～1988年

“Entrust yourself to me,” the Tathagata calls to me.

“I leave everything up to you,” I answer in response.

Suzuki Ayako (1941-1988)

東日本大震災三条教区災害救援金

皆様にご協力いただいております三条教区独自の救援金は、2013年6月26日現在、総額13,730,326円となりました。

これまでの救援金寄託状況は以下のとおりです。

2,000,000円 東京教区 2012年2月14日

10,000,000円 仙台教区 2012年4月13日

ご報告いたしますとともに、ご協力の御礼を申し上げます。

研修会のご案内

■ 第19回全戦争犠牲者追弔法会 開催案内既送

◆日時 2013年7月6日(土)13:30～16:00

◆場所 三条別院

◆問合せ 三条教務所(担当:宮野)

■ 第51回児童夏の集い

開催案内既送

- ◆日時 2013年8月20日(火)～22日(木)
- ◆場所 長野市戸隠キャンプ場
- ◆テーマ 友達の輪～つながり～
- ◆その他 参加児童募集中!
- ◆問合せ 三条教務所(担当:五辻)

■ 教区坊守研修会報告

テーマ: 寺をひらく わたしをひらく—ともに聞こう 語ろう—

期日: 2013年5月20日(月)

会場: 教区同朋会館

講師: 一楽 真 大谷大学真宗学科教授

参加者: 72名

昨年3月に続く一楽先生第2回目のこの貴重な一日を待ちに待っていました。



ご講義は『わたしをひらく...のがまず難しい。それができればお寺は開かれるよ』という始まりで、心塞意閉ということについて、アレン・ネルソン*の生き方そして阿難・提婆達多の例をあげて丁寧にお話してくださいました。

仏法に出遇いなおすとはなんなのか? 他の誰とも変わる必要のない自分を私は本当に慈しんで生きているのか? いつもいつも不満足な自分が講義の間、体からとび出しそうでした。

また時折、大谷大学の学生との楽しい話題にも触れられ、沖縄の小児科医である志慶眞文雄(しげまふみお)先生のお話も興味深いものでした。物理の学問としていくら求めても答えの出なかった『なぜわたしがあるの?』という問いは堂々巡りの結果、釈迦がすでに『縁起』ということで解決していたというお話です。小児科医院で開かれる、毎週土曜日の、まなざし仏教塾という聞法会は誰のためでもなく先生自身が仏法に触れるための大切な時間! なのだそうです。この頃、寺院などの危機という事

がよく話題になっていますが、自分自身が求めていけば法の力・伝わりは必ずあるのですね。

今回の研修会では、午後に座談会の時間がゆっくりと設定され、同じ坊守としていろいろな方と楽しくおしゃべりしました。そのあと再開された講義では『皆さんの雰囲気は午前と全く違いますね』と先生も驚かれるほどの和みようでした。

同じ場集まり、ただ講義をうけて自坊にもどるのとは全然違う楽しさの中、皆さんとの本日のご縁に感謝したいと思います。合掌

第23組 慶誓寺坊守 泉 美樹子

* アレン・ネルソン(1947～2009)ベトナム帰還兵
著書『ネルソンさん、あなたは人を殺しましたか?』
講談社文庫

■ 推進員・育成員共学研修会報告

去る5月16日、22組善良寺住職加藤祐晃氏を講師に21名の参加によって開催されました。昨年は「推進員教習についての研修会」の名称で始まりましたこの会も、今年は表記のとおり名称を変更して行われました。



「推進員」に係わる教区の部会は、当「推進員教習」部門と「推進員研修会」部門とがあります。「教習」は推進員の誕生を期するものであり、「研修会」はすでに推進員になられた人々を中心とする学びの会となっています。「育成員」は僧分の人全員を指し、人々を仏道に誘う職分と心得ています。現実的にいえば、育成員は人々を「推進員養成講座」に勧誘する立場の人を言います。そういった意味から研修会の名称を「推進員・育成員共学研修会」と改称したものです。

加藤師からは、同朋会運動の願い—推進員・育成員のあゆみを通して—との講題でお話いただきました。歴史的な経緯として戦後、それまでの布教の要であった「お講」の消滅が進んだこと。「女房講」・「女人講」というものまであり、真宗が生活の場とともにあったものが衰退していったこと(そういえば、別院本堂手すりのギボシに「下保内女人講」の刻みがあります。ご覧ください)次第にお寺との交流は家の代表者に限られていったこと、などの反省から檀家から信者へ、家の宗教から個の宗教への願いや、本山改革の動きなどが相俟って同朋会運動の機運が高まってきました。「教化基本条例」第9条に「本派は、立教開宗の精神により、自信教人信の実を挙げ同朋社会の実現を期するため、真宗同朋会を設け

る」とあり、「真宗同朋会条例」第2条には「同朋会は、(中略)会員が自らの上に教法を聞き開き、その自覚を生活に生かし、もって健全な社会の形成に寄与することをその本旨とする」。また、「真宗同朋会条例施行条規」第7条には(同朋)会員のうちに「推進員」を置く。2、「推進員」は、同朋会の趣旨の徹底及びその推進に当たる。と記されることとなりました。昭和37年『真宗』誌で、純粹なる信仰運動、人類に捧げる教団と謳いあげられました。

当「推進員教習部門」の目的は推進員を如何に多く誕生させるかということです。人数で成果を判断するものでないことは勿論ですが、より多くの方々に仏道を歩んで欲しいとの願いがあります。続いて5月19日に開催された、北西憲二講師による「現代人の悩みと森田療法—仏教思想との関連から」は満堂の盛況でしたが、参加者から講師への質問には仏教関係のものはありませんでした。どうやら仏教は期待されていないようでありました。

これで良いのでしょうか。考えてみたいと思います。

推進員教習部門 有坂次郎

■ 「差別と真宗」基礎講座報告

12組の「差別と真宗」基礎講座が6月2日(日)、片貝の浄照寺さまを会場に開催されました。推進員養成講座を修了し、本山での宿泊研修を終えられた皆さんを中心に、約40名の方々が参加して、真宗門徒にとって差別問題がなぜ信心の課題なのか、という観点からの学びを深めました。講師をつとめていただいたのは、教区「差別と真宗」共学研修会部門スタッフでもある今泉温資氏。

先生はまず釈尊の「生まれを問うことなかれ、行いを問え」ということばを手がかりに、インドや中国の「城」の形態から、釈尊出家の契機となったといわれる「四門出遊」の実際は、城外で「不可触民」(＝アウトカースト)と出会ったことがきっかけとなったのではないかと、という見解を示されました。釈尊の出家は、カースト制への挑戦であり、訣別であったからこそ、「天上天下 唯我独尊」という、何びとも、生まれながらにして尊いのだという、人類初めての「人間宣言」に逢着されたのではないかと結論づけられました。

釈尊が到達されたこの真理は、親鸞聖人にも受け継がれ、「いし、かわら、つぶてのごとくなるわれら」(『唯信抄文意』)という名のりになり、「一人いて喜ばば二人と思ふべし、二人いて喜ばば三人と思ふべし。その一人は親鸞なり」(『御臨末の御書』)という「同朋」の思いにつながったのだとされました。そして、釈尊や宗祖の精神を生きる身になったとき、差別の問題は決して過去の問題ではないことに気づくはずであり、この気づきに基づいて生きることこそが私たち真宗門徒のつとめ、と訴えられました。

豊富な話題を判りやすく、しかも音吐朗々と説く先生のお話は、聴聞の人々に深い余韻と味わいを残し、境内の木立を吹き抜けるさわやかな風をうけての2時間はまたたく間に過ぎてしまいました。



受講記録記載のために提出いただいた「同朋手帳」の中には、旧版、旧々版のものが含まれていて、参加の皆さんの聞法歴の長さに敬服、寺族の皆さんの参加の多さに、ご門徒と手次寺との信頼関係がうかがわれて感慨深いものがありました。

講師の今泉先生、会所の浄照寺さま、そして組内各ご寺院とご門徒の皆さんに深く感謝申し上げます。

「差別と真宗」共学研修会部門 中島義紘

教務所からのお知らせ

◎法務手伝い希望について

教区内勤務希望 30代男性 有教師
可能な寺院がありましたら教務所へ連絡ください。

◎ラジオ放送「東本願寺の時間」について

宗派が1951年11月よりラジオ伝道として放送している「東本願寺の時間」について、吉運堂様のご提供により、新潟県でもお聞きいただけます。

○講師 5/12～6/22 田村晃洋(茨城県 専照寺)
6/23～8/3 木戸尚志(島根県 正萬寺)

○テーマ 「現代と親鸞」
(変更になる場合があります)

○放送局 BSN新潟放送
*新潟県全域をカバー
・小出エリア 1026KHz
・中越エリア 1062KHz
・下越エリア 1116KHz
・塩沢エリア 1485KHz
・上越エリア 1530KHz

○時間 毎週金曜日午前5:00～5:10

○提供 吉運堂様

◎教区行事予定表

2013年		
7/1(月)	14:00	(遠)法要部会
7/2(火)	13:30	坊守会役員会
7/4(木)	14:00	企画員会
7/5(金)	17:00	教学研究会輪読会
7/6(土)	13:30	全戦争犠牲者追弔法会
7/8(月)	14:00	真宗学院運営委員会
7/9(火)	14:00	真宗学院指導会議 社会広報部会 靖国問題研修会部門会議

7/10(水)	15:00	教区会監査
7/11(木)	14:00	(遠)実行委員会 教化センター
7/12(金)	14:00	御依頼適正審議会
7/18(木)	14:00	教化センター
7/19(金)	10:00 14:00	教区門徒会常任委員会 教区会参事会
7/22(月)	14:00	(遠)広報部会
7/23(火)	13:00 14:30	教区会特別委員会 教区会決算委員会
7/24(水)	14:00	教区会予算委員会
7/25(木)	14:00	別院責任役員会 教化センター
7/26(金)	13:30	教区会(通常会)
7/29(月)	10:00	教区門徒会(通常会)
8/2(金)	14:00	大谷大学同窓会会議
8/3(土)	14:00	別院院議会
8/6(火)	13:30	真宗同朋の会推進員連絡協議会総会
8/8(木)	13:30	正副組長会
8/20(火)		～22日 第51回児童夏の集い
9/6(金)	14:00	大谷大学同窓会(仮予定)

(遠)は三条教区宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌実行委員会関連であることを示します。

行事日程(会場)重複防止の便宜上、教区・別院主催以外の行事が一部含まれています。また、日程は変更される場合があります。

新潟親鸞学会からのお知らせ

2013年7月から新潟日報に連載が開始される五木寛之作『親鸞—激動編』の挿絵を手掛ける画家 山口晃氏の新潟発個展についてご紹介させていただきます。

期間: 平成25年7月27日(土)～9月29日(日)

会場: 新潟市美術館

サイン会とトークショーも開催されます。

詳しくは、<http://www.ncam.jp/exhibition/1202/>をご覧ください。

【新潟親鸞学会入会の申し込み・お問い合わせ】

新潟親鸞学会事務局 担当 富沢慶栄
〒951-8061 新潟市中央区西堀通二番町783 超願寺内

☎025-222-2820 FAX 025-222-2830

Eメール chogANJI@nifty.com

新潟親鸞学会デスク(ブログ):

<http://niigata-shinran.cocolog-nifty.com/blog/>

三条仏青有志会ボランティア

三条仏教青年有志会は教区災害対策委員会と連携し、東日本大震災で被災された方々の支援活動を行っています。活動に参加いただける方はご連絡ください。

連絡係 藤井信彰(14組長楽寺) shinsho@nct9.ne.jp